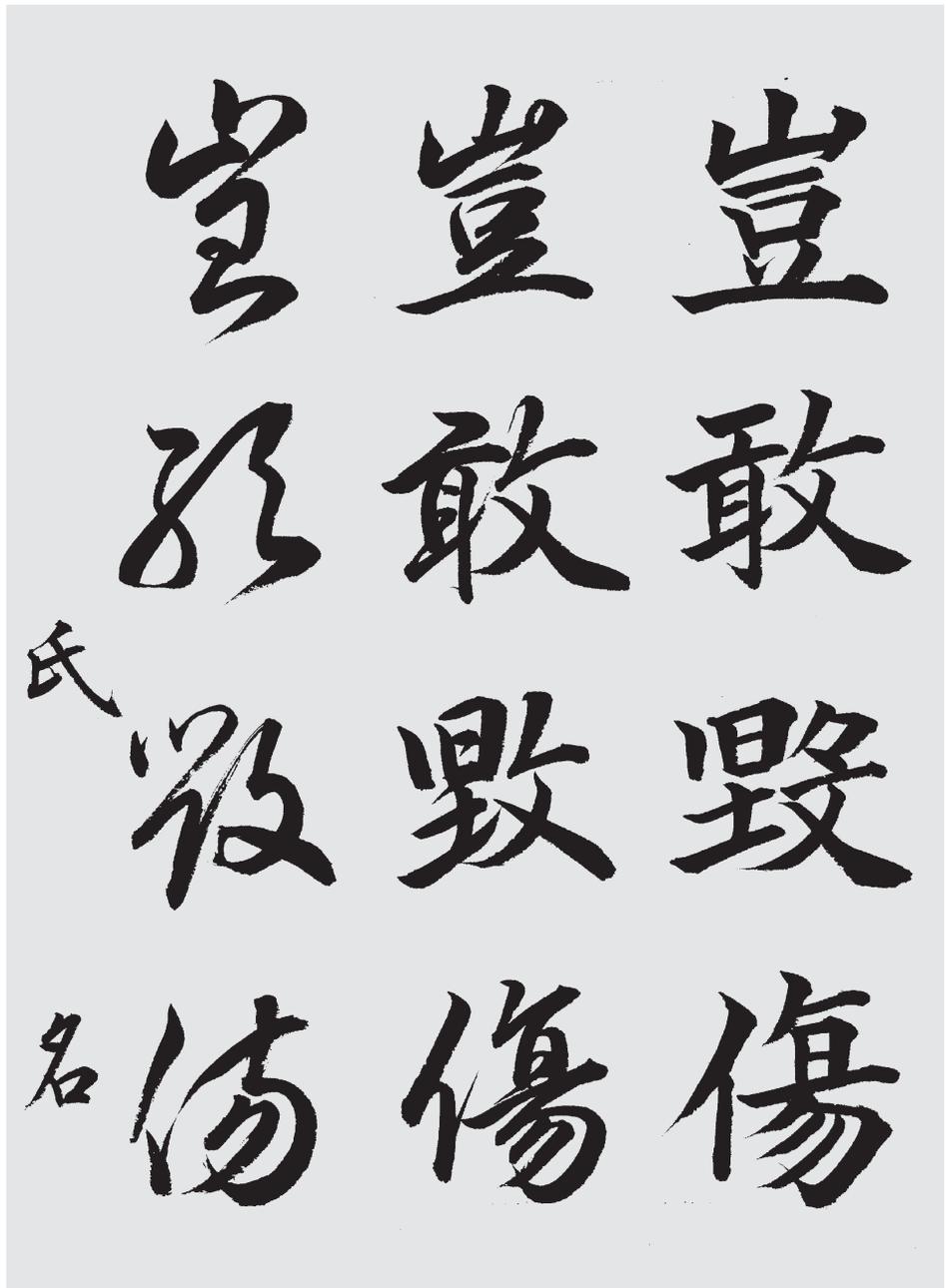


三体千字文を書く(40)

締切り 四月二十二日(必着)



奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 B半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六(一九八一)年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、

憲照先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間と平成二十八年の一年間学びましたが、今回はその続きです。

◆原点に戻って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二〜五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

恭惟鞠養

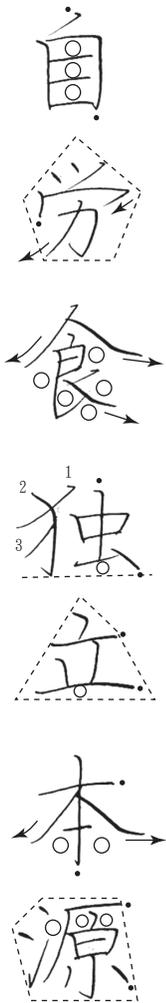
豈敢毀傷

恭しく、自分を養い育てた親の恩を思い、子として身を損うことなく、

準初段から六段まで

新入から1級まで

[解説]



▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

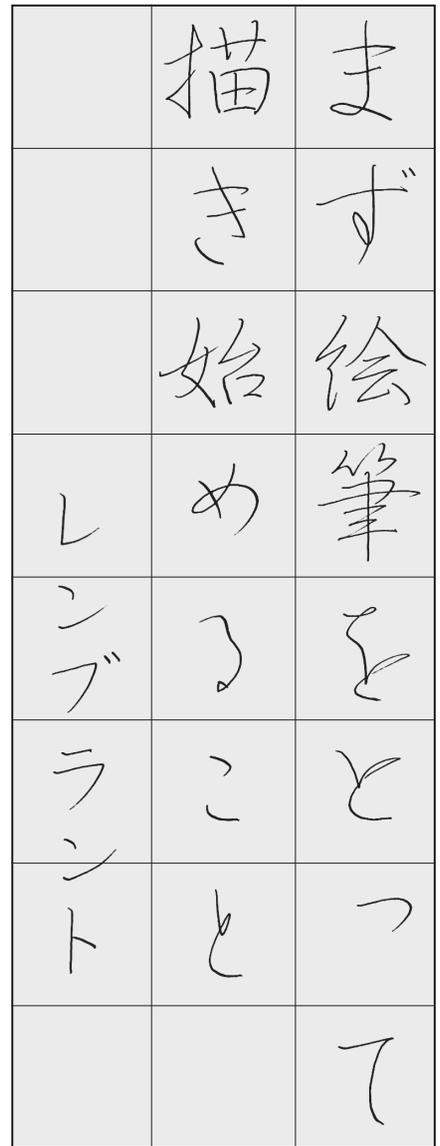


新井龍峰書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

[解説]



古田瑞苑書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

▼教範・書範||行書  
▼師範||楷書

謙譲と愛敬を  
忘れてはだめだ

◆5月課題予告(行草または草書)  
人間

★自ら…(書体||楷書)  
福沢諭吉(一八三四〜一九〇一)  
人が動物と区別できる唯一の証しは、人が働くことによって食物を得る事にあります。  
慶応義塾の創始者であり思想家や評論家でもある福沢諭吉のこの言葉は、労働することの大切さ、労働によって得られる人間の自立心を述べています。労働を拒否しようとする怠け者を戒めるためのことばに、人間が人間として生きて行くための重要さがこめられています。

★5月課題予告(楷書)

心を平らかにして  
気を和やかにする  
貝原益軒

★まず絵筆を…(書体||行書)  
レンブラント(一六〇六〜一六六九)  
オランダの肖像画家の彼は、絵はどの様に描いたらいいのかという質問を受けるたびにこの言葉を返したといいます。  
理屈や理論は二の次、描き始めればコツをつかみ、自分の画法がどの様に向かえばいいのか感覚的につかめるといふのです。  
我々、書を志す者も同じだと思えます。机上の空論に終わらせず実行に移す事が肝心でありましょう。





締切り 4月22日(必着)

川面に美しい花筏が流れるこの頃  
お元氣(お)でいらっしゃいますか。  
花守も、花盗人も、花の下にて  
ともに酒を酌み交わす、なんとも  
楽しい季節です。御地の花便りも  
是非お聞かせ下さいませよう。

川面に美しい花筏が流れる、この頃  
お元氣でいらっしゃいますか。  
花守も、花盗人も、花の下にて  
ともに酒を酌み交わす、なんとも  
楽しい季節です。御地の花便りも  
是非お聞かせ下さいませよう。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙はがき課題はがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具はがき、横書き課題ともに自由。  
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横書き課題

お 尾 ごう 翠 ごう 光 書

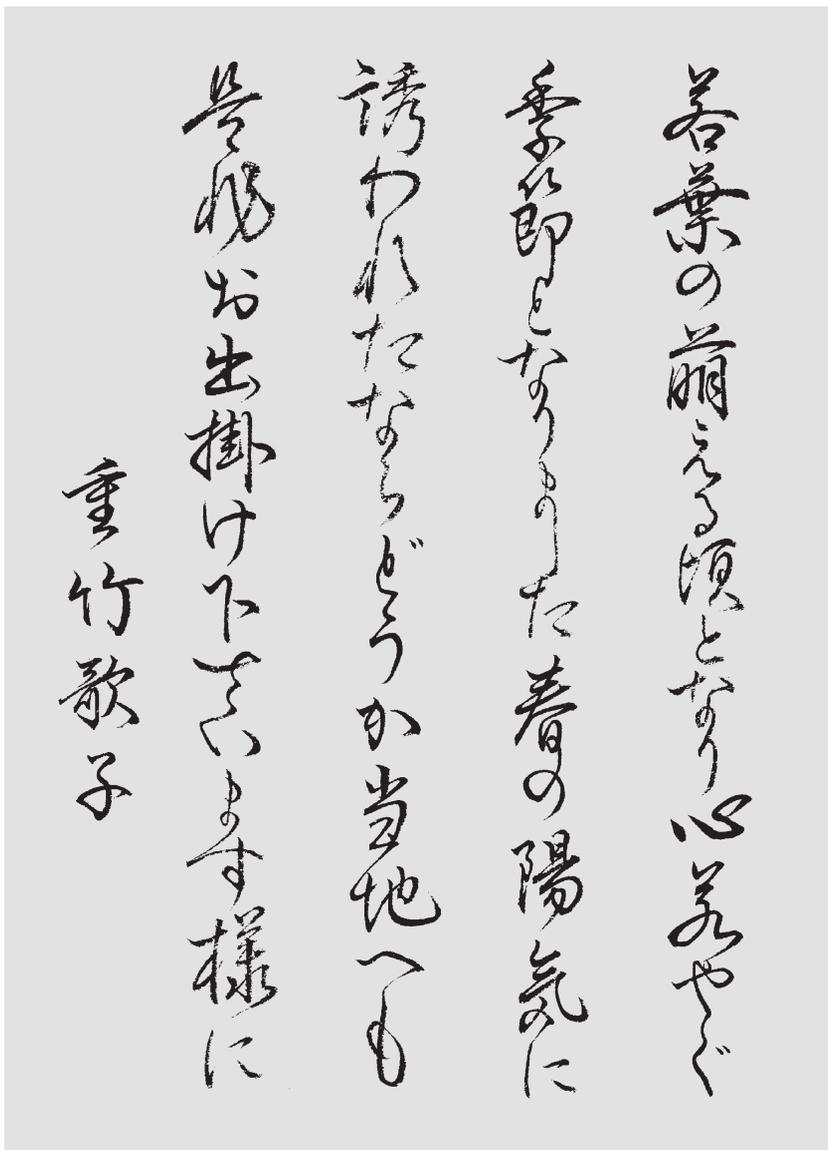
空海は弘法大師とも称し、わが国  
古今を通じて書の第一人者である。

青森県三沢市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

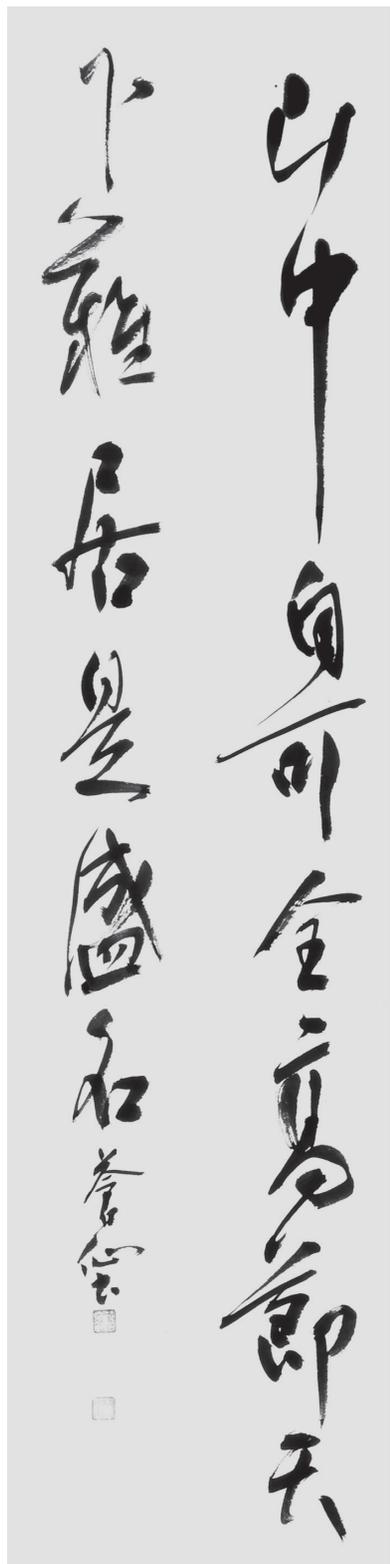
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

書 香 梅 藤 伊



締切り 四月二十二日 (必着) 半切 (一三六cm × 三五cm)

荻田蒼仙先生書

山中自可全高節

天下難居是盛名

〔大意〕 俗事を離れた山中にあって気持ちが高潔でありえるが、一般世間では諸事煩わしく住みにくい。

初出品の方へ

支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

〔条幅解説〕

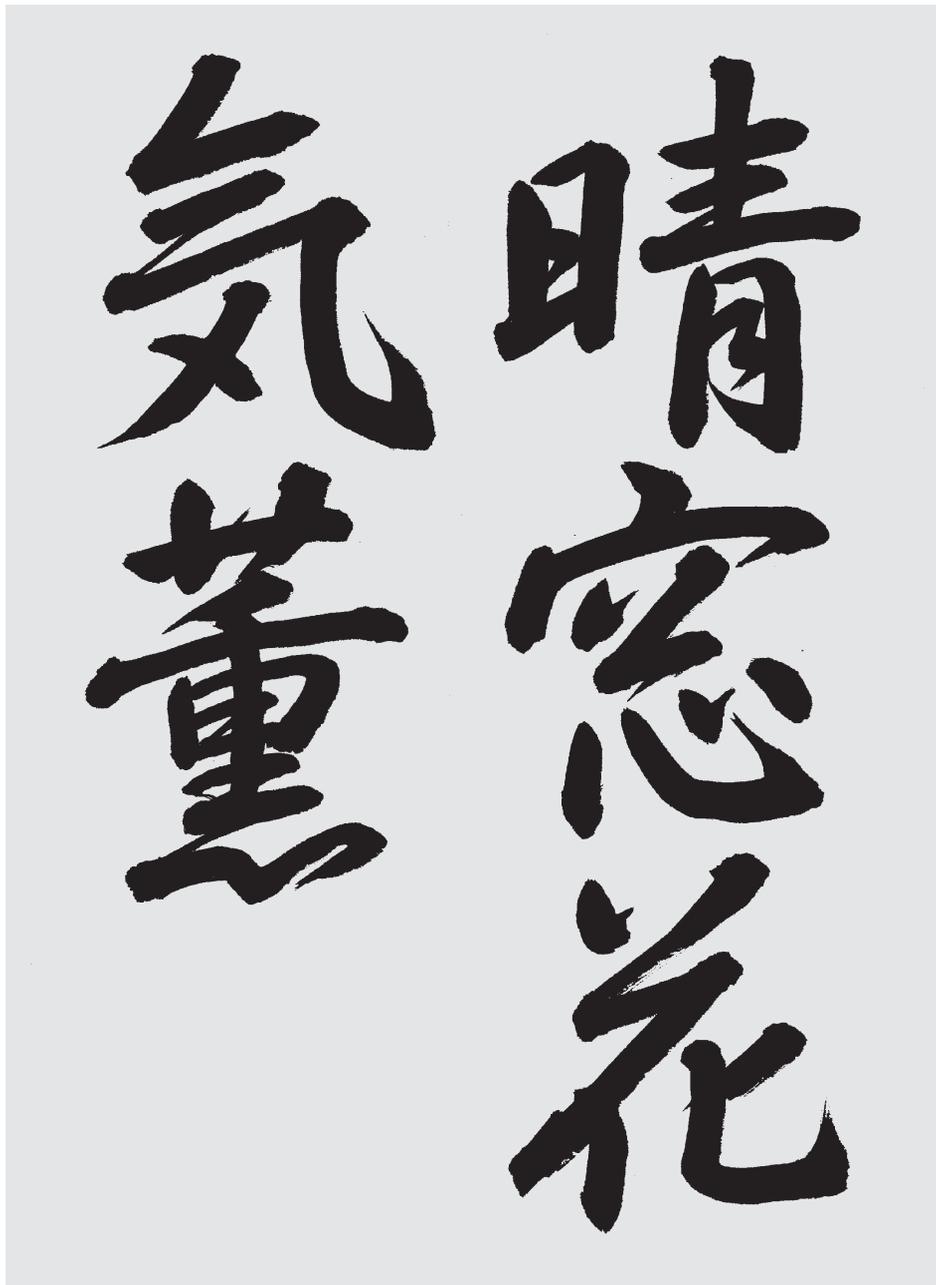
書く枚数を重ねる程に、或いは書く意欲が高揚する程に字粒が大きくなりがちです。即ち余白の美しさがそなわれるのです。白と黒との対比は大切な事です。字粒を少し小さく引き締めてみると字が強く見えるのも事実です。一流展をめざす方は心すべきです。

若葉の萌える頃となり心若やぐ  
季節となりました 春の陽気に  
誘われたならどうか当地へも  
是非お出掛け下さいます様に  
印で墨つぎしました。  
(ご自分の氏名)

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

新入から1級まで(行書)

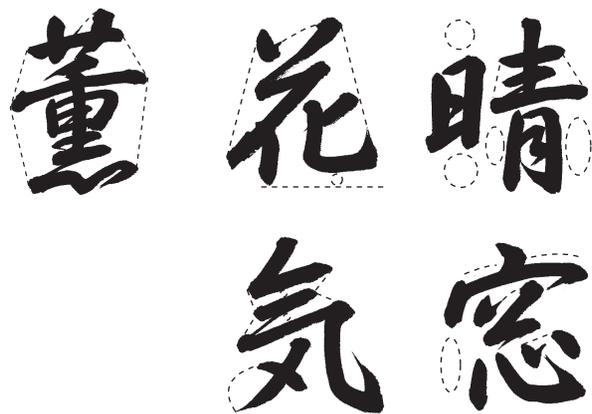


せいそうかきくんす  
晴窓花気薫

〔大意〕晴れて明るい窓に花気が薫々におうている。

清し  
水  
翠  
芳書

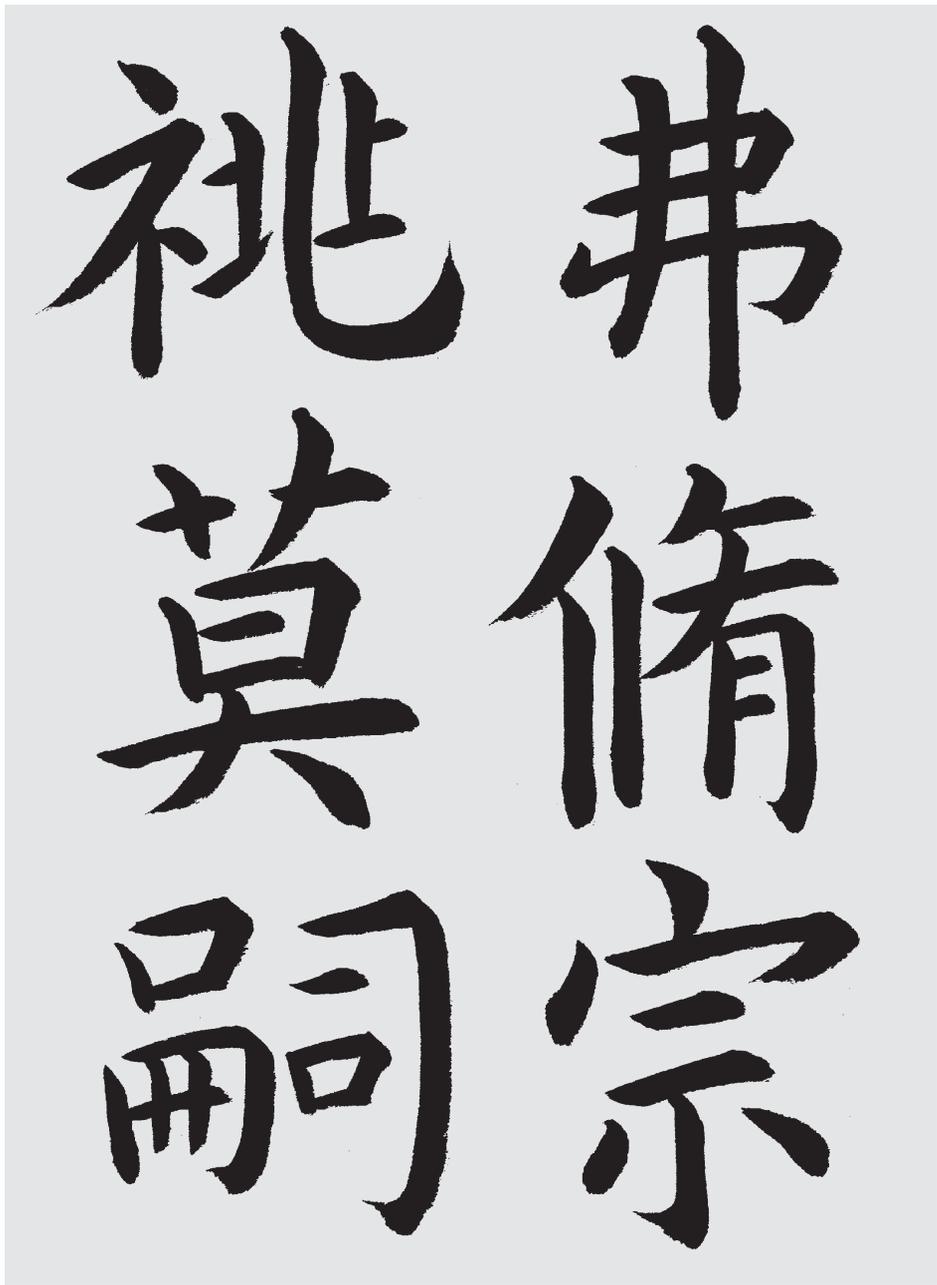
〔解説〕



◆5月課題予告(楷書)



準初段から師範まで



須田一葉臨

弗  
脩  
宗  
祧  
莫  
嗣

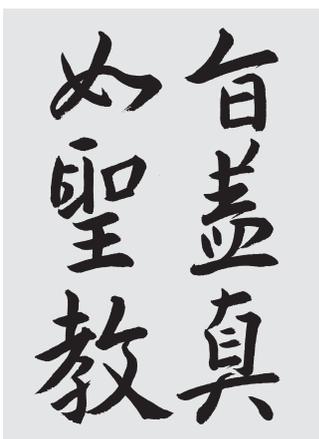


〔解説〕

〔出典〕孔子廟堂碑（六二六～六三三）  
 〔筆者〕虞世南（五五八～六三八）  
 〔読み〕脩められず、宗祧嗣ぐ莫し。

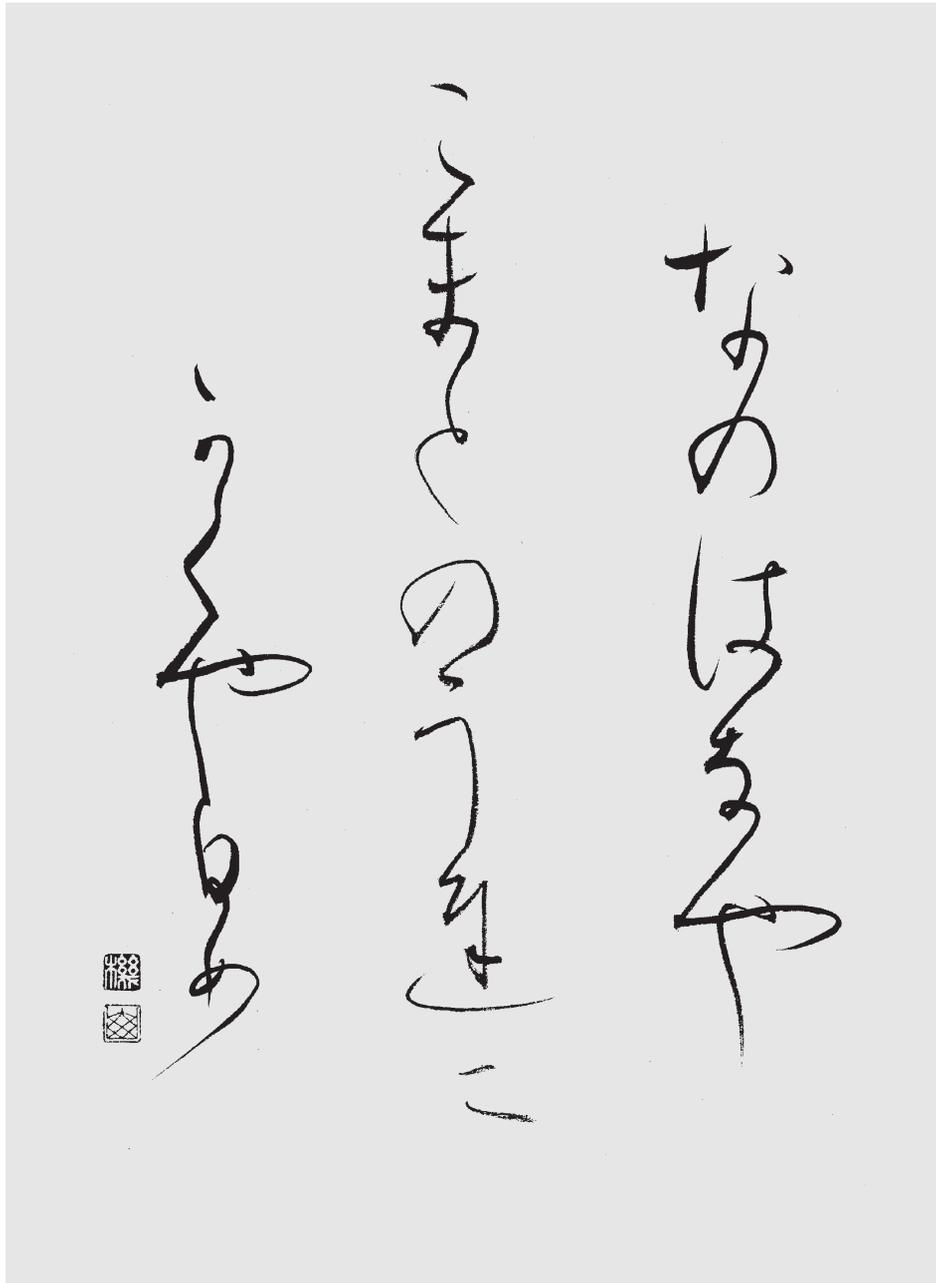


◆5月課題予告  
 ※文献によって字体が異なる場合があります。



新入から1級まで

浅井機山先生書



菜なの花はなや小窓こまの内うちにかぐや姫ひめ

建部巢兆たけべのすめ

〔句意〕

畠の菜の花が一面に咲いている。遠くの家  
の窓には、かわいらしい女の子がかぐや姫  
のようにみられる、の意。

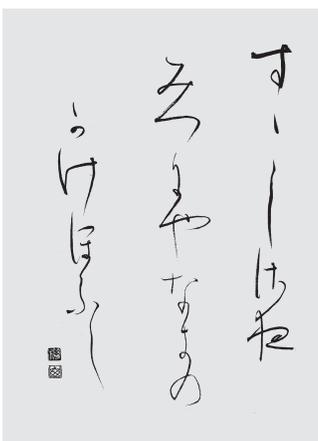
〔古筆参考〕

菜な 花はな 小窓こま 内うち にかぐや姫ひめ

遅ち 筆ひ 進しん 進しん 進しん

可か り り り り

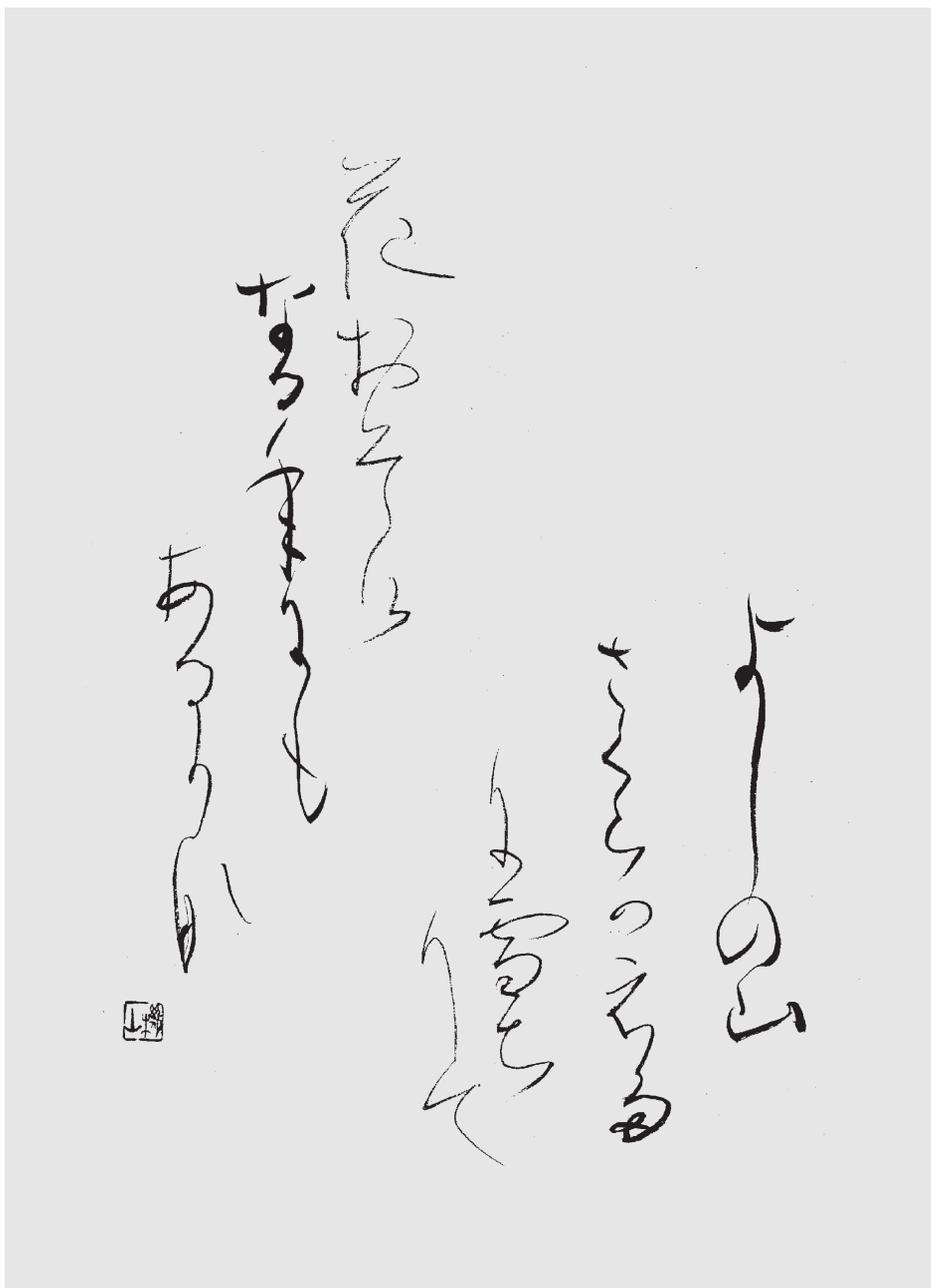
◆5月課題予告



すしすし さやさや 水みづ に柳やなぎ のかけ法師かけ法師

準初段から師範まで

浅井機山先生書



吉野山桜が枝に雪散りて

花おそげなる年にもあるかな

西行

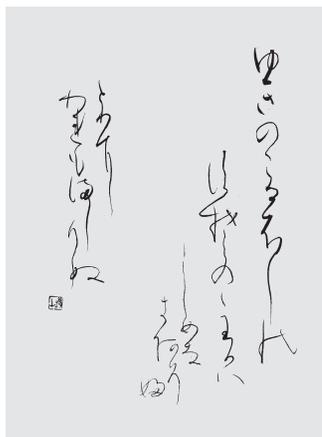
〔歌意〕

吉野山の、桜の枝に雪が散るよう降って  
いて、今年花の咲くのが遅そうに思われ  
る年であるよ。

〔古筆参考〕

多た 多た  
介け 介け  
可か 可か  
那な 那な

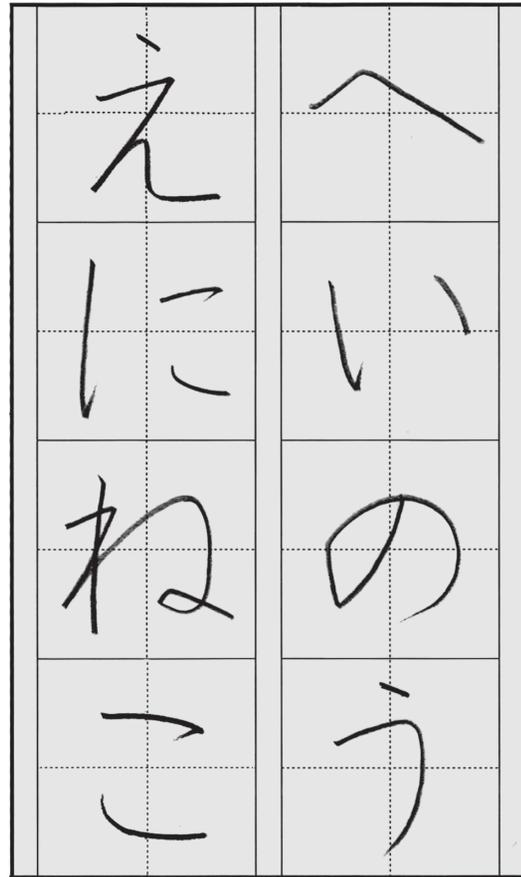
◆5月課題予告



雪残る富士の裾野の若葉占め

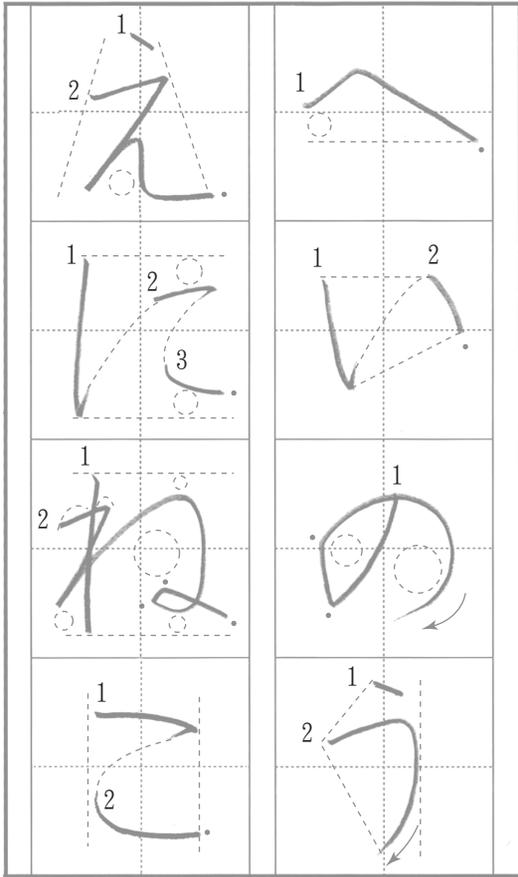
啼き遊ぶ鳥に我もまじりぬ

よ  
う  
年



★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。  
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



〈ようぐ〉自由(黒色にかき)

新  
小  
一  
年

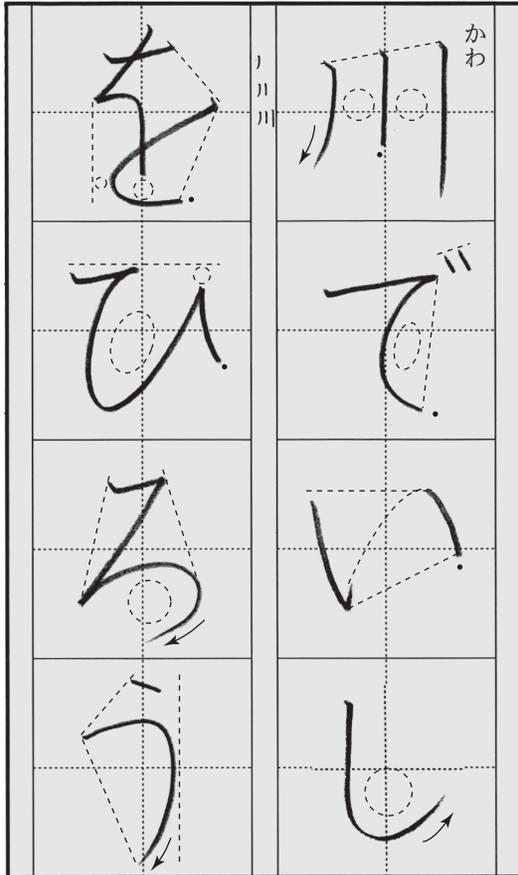


(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準  
初  
段  
以  
上

新入〜1級

幼年〜小三年まで  
三宅容玉書



〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

を	け
買 <small>か</small>	し
う	ゴ
よ	ム

新入〜1級

ム	白	新
を	な	し
買	け	い
う	し	ま
よ	ゴ	つ

新小二年  
準初段以上

具 <small>グ</small>	す
の	き
お	な
店 <small>みせ</small>	家 <small>カ</small>

新入〜1級

※母かあさん||単語としてこのように読みます。

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

家	す	母
具	き	さ
の	な	ん
お	洋	が
店	風	大

新小三年  
準初段以上

新小四年

しな 大 小 中	お
もの 物	祝 いわ
えら 選	い
ぶ	い

(全員)

新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

- \*用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- \*六月締切り分までは、この方法を続けます。
- \*ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。
- \*七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

新小五年

に	る	辞
つ	習	書
け	慣	で
よ	を	調
う	身	べ

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)

3 1.2 慣	カン ニキ 舌 舌 辞	ジ 辞
み 身	シヨ 書	シヨ 書
	しら(へる) 調	調
	シユウ 習	習

小四年以上

岡嶋桂川書

〈用具〉自由(黒色に限る)

一ナ大	タイ 木	一十オ木	モ 木
ハカホホサ変	ヘン 変	綿綿綿綿綿	メン 綿
キョウウ	キョウウ 吸	一オオ水	スイ 水
一ハ収	シユウ 収	フン 分	フン 分

解説(よく見て習いましょう)

※木綿(もめん)単語としてこのように読みます。

吸	を	木
収	大	綿
し	変	は
ま	よ	水
す	く	分

新小六年

(全員)

動	で	ハ
が	は	ワ
盛	噴	イ
ん	火	諸
だ	活	島

新中二・三年

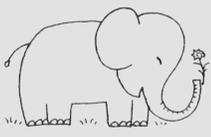
(行書)

む	題	ご
市	に	み
民	取	処
団	り	理
体	組	問

新中一年

(行書)

▼小三年以下の課題 まつ い せん ゆう 松 井 千 游 書

「	グ	長 <sup>なが</sup>	ぞ	草 <sup>くさ</sup>
こ	ー	い	う	を
ん	ン	お	さ	食 <sup>た</sup>
に	と	鼻 <sup>はな</sup>	ん	べ
ち	の	を	が	て
は	ば			い
」	し			た
	て			
				

◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 4月22日(必着)

習っていない漢字は  
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 うき もと こう さ 浮 本 光 紗 書

学 <sup>がっ</sup>	染 <sup>そ</sup>	ピ	舞 <sup>ま</sup>	桜 <sup>さくら</sup>
校 <sup>こう</sup>	め	ン	い	の
に	ら	ク	落 <sup>お</sup>	花 <sup>はな</sup>
続 <sup>つづ</sup>	れ	色 <sup>いろ</sup>	ち	び
く	た	に	て	ら
道 <sup>みち</sup>				
				

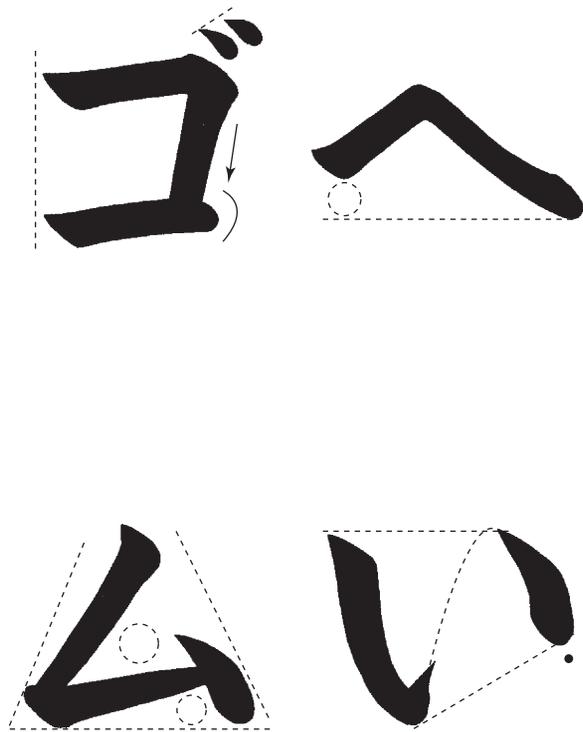
◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



幼年(新)小二年  
酒井智仔書



小五  
 辞書

小三  
 お店

物  
とめ

お

辞

店

書

品  
大 小 中

小四  
 口  
 口  
 物

新小三  
 新小五年

水野碧友書  
みずの へきゆう

中二・三

活動

小六

木綿

新小六〜新中二・三年

たまきしょうか  
玉樹小華書

まるみ  
民

木

中一

市民

活

綿

動

市

※行書は気脈のつながりに注意しよう。